

実施日：11月8日（3校時）	
領 域：特別活動	
取組名：携帯電話やインターネット等の危険防止講演会	
対 象：全校生 保護者 地域の方	実施場所：体育館
ア ねらい 携帯電話やインターネットは生活に欠かせないものとなっているが、その便利さの影で危険性があることを学び安全な使い方を身につけさせる。	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 【講演内容の概略】 講師 兵庫県情報セキュリティサポーター 篠原嘉一さん 普段何気なく利用している SNS や無料アプリで個人情報が積み重ねられ、転売したり利用される恐れがある。ネット上で知り合った人物と会うと、契約トラブルや性犯罪に巻き込まれることがある。ネットに何か書くということは、削除しても永久に残る（就職や結婚に影響する）。投稿した画像やコメントには GPS 位置情報があり、自宅や自分が今いる場所が知られてしまう。ネットは便利で楽しいものではあるが、ネットに依存するのはいけない。今の利用状況を見直す必要がある。 危険を防ぐための対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ ネット上に個人情報を詳細に書き込まない ・ ネットへの投稿は消せないものだと認識する ・ スマートフォンの GPS 位置情報の設定を投稿前や撮影前に OFF にする ・ ネット上の友達にはメールアドレスやパスワードは絶対教えない ・ 問題画像を投稿しない 	
ウ 連携先：保護者 地域	
エ 連携にむけての取組 携帯電話やインターネットの利用方法については、家庭との連携が必要である。講演会には保護者や地域の人に呼びかけた。参加された方には、用語解説などの資料を配布した。講演会終了後、講師に対して個別に質問がある方のために時間を設定し、より理解を深めるようにした。	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員で共通理解をして取り組み、講演会後に各学級で事後指導を行った。 ・ 全市的な取り組みになるよう、必要な学校には講師を紹介した。 	
カ 評価の方法 生徒の感想文 [別紙④]	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒達が興味を持っているネットの講演会だったので、関心を持って聞いていた。 ・ 普段何気なく使っているネットに潜む危険性がよくわかった。 ・ 安全な使い方を具体的に説明されたので、自分で利用方法を考えることができた。 	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ ネットの危険性については教員が生徒に説明することが難しいので、教員に対する研修が必要である。 ・ 生徒向けだけでなく保護者向きの講演会も必要であるが、時間的な設定が難しい。 	